

平成 29 年度事業実施状況

1 県協議会の開催

後発医薬品のさらなる安心使用の促進に向けた検討を行うとともに、県医療費適正化計画における後発医薬品に関する目標（後発医薬品の数量シェアや普及啓発等の施策）の進捗管理等を含めた検討を行う。

日 時：平成 30 年 1 月 15 日（月）午後 2 時～午後 3 時 30 分

内 容：平成 29 年度事業実施状況及び平成 30 年度事業計画等の協議

「後発医薬品のさらなる使用促進のための新たなロードマップ」を踏まえた対応策や事業内容等の検討

2 地区協議会の開催

(1) 安足地区後発医薬品使用促進協議会の開催

日 時：平成 29 年 10 月 12 日（木）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

場 所：安足健康福祉センター

委 員：医療団体代表、介護福祉団体代表、行政機関（市） 12 名

内 容：後発医薬品の使用促進に向けた取組について

安足地区医療機関（病院）における後発医薬品の使用割合について
関係団体等の取組について

(2) 各健康福祉センターへの開催協力依頼

各センターにて開催される医療関係者が参集する会議の場において、県内の現状を説明し、環境が整ったセンターから地区後発医薬品使用促進協議会の開催を依頼した。

県西健康福祉センター 平成 29 年 8 月 1 日（火）実施

なお、県東、県南、県北健康福祉センターは、3 月末までに実施予定

3 広域病院等後発医薬品採用リストの内容更新

協力病院（19 病院）から情報提供を受けて、後発医薬品の採用リストの内容を更新し、県のホームページに掲載する。（平成 30 年 2 月予定）

4 後発医薬品に関する実態調査の実施

(1) モニター薬局に対する調査

平成 28 年度に引き続き、後発医薬品の数量シェアの高い市町と低い市町の薬局に対して調査を実施した。（平成 29 年 10 月）

なお、調査報告書を作成し、県ホームページに掲載する。（平成 30 年 2 月予定）

調査対象薬局 25 薬局 / 回答数 23 薬局 / 回収率 92%

(2) 病院に対する調査

今年度、県内の病院に対して、後発医薬品使用割合に関する実態調査を実施した。

（平成 29 年 10 月）**（新規事業）**

なお、調査報告書を作成し、県ホームページに掲載する。（平成 30 年 2 月予定）

調査対象病院 107 病院 / 回答数 90 病院 / 回収率 84%

5 イベント等での啓発活動

(1) 「お薬相談・展示会」での啓発活動

主 催：栃木県、(一社) 栃木県薬剤師会、(一社) 栃木県病院薬剤師会、
(一社) 宇都宮市薬剤師会、栃木県薬事工業会
後 援：宇都宮市、(公社) 日本薬剤師会、(一社) 日本病院薬剤師会
日 時：平成 29 年 10 月 21 日(土)11:00～16:00
平成 29 年 10 月 22 日(日)11:00～16:00
場 所：ベルモール 1F カリヨンプラザ (宇都宮市陽東)
内 容：患者啓発用パンフレット「ジェネリック医薬品の話」・「希望カード」
の配布 等

参加者数：約 2,500 人

(2) 医学部 (獨協医科大学、自治医科大学)、薬学部 (国際医療福祉大学)、保健学部 (県立衛生福祉大学) の学生に対し、講義等を行った。

(3) 全国健康保険協会が主催 (後援：栃木県) する後発医薬品セミナーで講演を行う。

県内 1 カ所：宇都宮市 (平成 30 年 1 月 30 日)

(4) シネアドの実施 (新規事業)

日 時：平成 29 年 12 月 16 日～平成 30 年 1 月 12 日

映画館：TOHO シネマズ宇都宮 (ベルモール店内)

(5) 平成 29 年 3 月に作成したジェネリック医薬品希望シール付きリーフレットをイオン (5 店舗各 100 部) の「元気とちぎ! 県政情報コーナー」に配置した。

(平成 29 年 11 月)

(6) 啓発用パンフレット (ジェネリック医薬品希望カード付き) を作成し、関係機関に配布する。(平成 30 年 3 月予定)

印刷部数：25,000 部

配布先：病院、薬局、市町、各健康福祉センター

(7) 栃木県理容生活衛生同業組合の組合員店舗に啓発用パンフレット (ジェネリック医薬品希望カード付き) の配布を依頼した。 (新規事業)

配布数：10,100 部

6 後発医薬品の品質に対する信頼性の確保 (新規事業)

県内の医薬品製造所のうち、後発医薬品を製造している製造業者から後発医薬品を収去し、行政検査を実施した。

収 去 先： 1 製造所

検 査 品： 2 医薬品

検査場所： 栃木県保健環境センター

結 果： 承認規格にすべて適合